

2023.12.10. どうしたらいいかわからない時、何をすべきか。

第二歴代誌20章

JD ファラグ牧師

頭を下げ、一緒に祈りませんか？ 主よ、ありがとうございます。はい、主よ。あなたは素晴らしいことを成し遂げられました。この時間と場所をありがとうございます。

主よ、私たちが一緒にあなたを礼拝し、賛美できるのは素晴らしいです。主よ、ここで集い、あなたの御言葉に耳を傾けられることを感謝します。あなたの御言葉は生きておられ、時を超え、こんにちにも当てはまります。ですから主よ、今朝、聖霊に導かれ、あなたの御言葉に入れますように。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。来てくださって大変嬉しいです。オンラインでご参加の方も大変嬉しいです。始める前に、2つお知らせしたいことがあります。火曜日の祈り会と木曜日の聖書の学びの時にも、すでに話しましたが、まず、乳がんと闘っている私の妻ケリーのために、皆さんの祈りを切望します。私たちのことを知っていただきたいのですが、ご存知なければ、知っていただきたいのは、私たちは同情してほしいのではなく、祈っていただきたいのです。数ヶ月前からわかっていたのですが、今はリンパ節に転移しています。夏の時点で、公表しなかったのは、不要な関心を向けられたくなかったからです。私の素晴らしい妻は、妻をご存知の方、彼女は素晴らしいです。妻をご存知ない方、彼女は素晴らしいです。が、彼女はまた非常に表に出ないタイプで、驚くほど静かです。

待ってください。何？ (笑) みんなこれにすぐ笑いましたね。しかし妻は、、私たちは結婚して35年。求愛期間2年。37年間一緒にいます。彼女は私のソウルメイトですよ。彼女は、本当に私を励まし、私が特権に与るこの神の教会で、手に鋤をかけ続け、御言葉を宣べ伝え続けねばならないことを思い出させてくれる人です。診断を受けてからずっとです。

ですから、2つ目は、私は明日から休みをとります。私の戻りは、主の御心なら、私たちがまだここにいるなら、その様子からすると、これが最後の晩餐になり得ますね。わかりませんが。私は次の祈り会、1月9日火曜日に戻ります。次の祈り会は、1月2日火曜日ではありません。私たちは新年の次の日に祈り会をしないからです。ですから、1月9日火曜日に説教壇に戻ります。私たちがまだここにいるなら、9日が次の祈り会です。その時から私は説教壇に戻ります。そして、続きの教えを再開します。その間は、大変有能なマック牧師とレイトゥ牧師が代講します。はい。ー 拍手喝采 ー

言おうとしていたのに、先を越されました。私はいつも人々に言いますが、私には妻だけでなく、最高に素晴らしいスタッフと教会がいます。その理由がわかったんです。神は私を見下ろし、本当にかわいそうだと思われたんだと思います。「この男にはあらゆる助けが必要だ。」と。ですから神は、牧師が望みうる最も素晴らしい人々を私に送られ、牧師が望みうる最も素晴らしい教会の特権を私に与えられました。ですから、そのような素晴らしい教会に感謝を言いたかったのです。皆さんは大変愛に溢れる教会、与える教会、祈りの教会です。ちゃんと言い終えそうだったのに。ケリーは「泣かないで。」と言います。彼女こそが、、「癌があるのは私よ。あなたが混乱してる。自分を見て。あなたの方が私より大変だと思ってるでしょ。」私はこう言いました。「わかっている。」OK。

気を取り直して、ここから始めましょう。ですから、先週、「第三 ヨハネの手紙」を終え、休暇前に短い「ユダの手紙」を始めたくなかったのが、主を求め今日の特別題材説教を決めました。タイトルを見てください。それが全てを語っていると思います。

『どうしたらいいかわからない時何をすべきか。』

人生で不可能な状況に陥ったときに。どうしたらいいかわからない時のお決まりは、

「第二 歴代誌20章」です。告白せねばならないのは、これは神の御言葉の一章で、私たち夫婦が長年にわたり経験し、神が私の人生に力強く用いられた御言葉です。それは、ちょうど、つまり、お決まりの章で、どうしたらいいかわからない時に、すべてが自分に敵対している時に。これは間違いなく、そのような時、自分自身がそのようなところにいる時に、最も重要な箇所、最も素晴らしい記述と言えるかもしれません。私たちが今から見ようとしているのは、この章にある7つの事で、どうしたらいいかわからない時にできること。順番は以下の通りです。

1つ目は、3節で、「断食して祈り、主に求めること。」

2つ目は、4節で、「共に集り、主から助けを求めること。」

3つ目は、5節から11節で、「主による過去の勝利を思い出すこと。」

4つ目は、12節で、「主から目を離さないこと。」

5つ目は、13節から14節で、「家族を主の御前に携えること。」

6つ目は、15節から17節で、「主とともに戦いに立ち向かうこと。」

最後の7つ目は、21節と22節で、「主においての信仰によって、前もって賛美すること。」

私は説教を全部しました。ここで祈りで締めくくれますね。背景を説明します。何が起きているのか、何の知らせがきたのかを理解する上で、非常に重要です。ヨシャファテ王はイスラエルの歴史上9人しかいない善良な王の一人で、実はこれは北イスラエルの部族ではなく、南ユダのことです。北イスラエルの王は皆、一人も良い王がおらず、主の御目に悪を行いました。ユダ王国、南ユダ王国では、主の御目に正しいとされる善良な王は9人しかおらず、ヨシャファテ王はそのうちの1人です。

さて、ヨシャファテは、木曜日の夜に「エゼキエル書」で話したセイル山についての知らせを受けました。モアブとエドムです。これが現在のヨルダンを築き、連合してヨシャファテ王に敵対しました。この大軍は、四方八方から大挙してヨシャファテ王に襲いかかりました。勝ち目はありません。つまり、見込みはない。ほとんど勝つ確率はありません。それどころじゃありません。木曜日の夜にこの話をしました。彼らは終わり、おしまいです。彼らはそれを知っていました。セイル山のエドム人とモアブ人の同盟に勝てるはずがないからです。因みに、彼らは宿敵、最大の敵であり、木曜日の夜に話した「エゼキエル書」35章と36章、セイル山（現在のヨルダン）に関する預言です。この箇所には興味深い詳細があって、彼らは、古代からの敵意をいつまでも抱き、言うのは簡単ですが、イスラエルに対してずっと敵意を抱いていました。これらはエドム人で、エサウの子孫であり、（エサウは）ヤコブ/イスラエルの二卵性双子の兄です。ですから、胎内からも彼らは敵同士でした。今、これらの敵が団結し、ヨシャファテに襲いかかろうとしていて、彼らは大群となって来ます。いくつかの翻訳では、そう表現されます。今、ヨシャファテは大軍が攻めてくるという知らせを受けます。それが、3節で取り上げられていて、すべき1つ目：「祈りと断食」です。

火曜日の夜、私たちはそれについて話しました。祈り断食し、主に尋ねること。で、3節で、私たちに語られているのは、「恐れ」控えめな表現だと思います。

一 歴代誌 20 : 3

ヨシャファテは恐れた。そして心に決めて主を求め、ユダの全土に断食を呼びかけた。

いくつか説明します。まず第一に、祈りと断食。この記述を覚えていますか？ 男の子が悪霊に取り憑か

れていて、弟子たちは悪霊を男の子から追い出せませんでした。ですから、父親がイエスのところに来て、こう言います。「あなたの弟子たちには治せません。息子に憑く悪霊が、息子を火に投げ込み、火傷しています。(マタイ 17:15 参照) どうか助けてください。」

イエスはその悪霊を追い出されました。弟子たちはその後、イエスのもとに来て、こう言います。

「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか？」(マタイ 17:19)

イエスはこう言われます。教えられる瞬間です。イエスは弟子たちに語られます。

「この種のもは祈りと断食によらなければ出ていきません。」(マタイ 17:21)

ここでヨシャファテは恐れています。再度、控えめな表現です。怯え、震え、恐れ、恐怖を感じています。どうすればいいのか？ 皆さんに、この言葉「心に決めて」に注目してほしいのです。彼は心に決めて、主に尋ね、祈り求め、断食しました。この言葉「心に決めて」は、原語の意味を完全に掴めたらいいのですが、、、この言葉には、断固たる、熟慮断行、完全に献身し、強く決意し、「祈り・断食する」という意味が込められているからです。言い換えると、このことを捧げる。これをすることを決意する。祈りと断食の両方を決意する。まず、初っ端から、どうすればいいのかわかりません。祈り、断食し主に尋ねなさい。心に決めて、祈り、断食し主を求める。これは祈りと断食によってのみ、もたらされうまくいくからです。悲しい話ですが、ある牧師が話してくれました。妻が夫にこう言います。

「ハニー、私たちは祈る必要があるわ。」 それに対し、夫が答えます。「そんなに悪いのか？」

祈りが最初の答えではなく、最後の手段となったのはいつからですか？ ヨシャファテの最初の答えは、固く心に決めて、主の御前に出ること。固く心に決めて、主に尋ね、祈り、断食する。

次は2つ目、4節です。これは大変重要で、特に信者の体の文脈で、「共に集い、一つになり、主に助けを求めること。」4節を聞いてください。

一 Ⅱ歴代誌 20:4

ユダの人々は集まって来て、主の助けを求めた。 [これを聞いてください] **実にユダのすべての町から人々が来て、主を求めたのである。**

興味深いです。人々が皆、集まって来ます。その意味するところ、つまり推論すると、彼らは自分たちの領地内で、分れている。しかし、今や、自分たちに対して迫り来ること故に、「私たちは団結する必要があります。」それは、信者の体が集まり一つになる時。それは力強いです。ユダのすべての町から、ユダのすべての民が来たというこの詳細は、彼らは心を一つに一致し、主からの助けを求めることに集中しました。つまり、話はかなり具体的です。皆さん、同意されますか？ ユダの人々は集まって来て、主の助けを求めた。(Ⅱ歴代誌 20:4 参照)

必要なときに、主の恵みの御座に近づくこと。そこで何を見つけるのか？ 慈悲と助け。主よ、私を助けてください。神は、3語の祈りに答えて下さいます。ペテロに聞いてみてください。ペテロは、水の上を歩いたあと、沈むので、あまり良い評価をされません。誰もがペテロに主から目を離れた点を注目します。「だから、彼は沈んだんだ。ペテロは！」はい、でも、他の弟子たちはどうですか？ 舟から出ませんでしたね？ ペテロは舟から歩き出しました。「来いと命じて下さい。」(マタイ 14:28 参照) OK。ペテロは水の上を歩きました。「しかし、彼は沈んだんだ。」はい、でもペテロは水の上を歩いたんです。沈む前にね。そう、彼は目を離して、、、ここがポイントです。信じようが信じまいが、ポイントあります。先週、このことについて話しましたね。自分が話したことを覚えていませんけど。牧師が自分が教えたことを覚えていないのは、かなりまずい。しかし、ペテロは、、、ペテロには大きな長い祈りをする時間はな

いですよ。「天にまします、われらの父よ、、、」そんな祈りが、他の夫婦の話を思い出させます。夫よりも霊的に成熟した妻が祈ります。「ハニー、祈りましょう。」妻が祈ります。「おお、天にましますわれらの父よ、天と地と海とそこにあるすべてのものの創造主であられる天の父よ、、、」彼女は複雑な祈りを捧げ、祈り終え、彼女は満足。「ハニー、あなたの番よ。」夫は、こう言います。「神よ、今、妻が何を言ったのかさっぱりわからないのですが、助けてくださいますか？」それが、ペテロが祈った方法です。ペテロは沈みかけています。「主よ、助けてください。」

Lord /save/ me. ぶくぶくぶく～。でしょ？ 想像できますか？ イエスが「まさか。それで終わり？ わたしはもっと良い祈りを教えたのに。どうしたんだ？ 『天にまします我らの父よ、願わくは、み名をあがめさせたまえ。み国を来たらせたまえ。、、、』は？」「いいえ、主よ、時間がありません。」

主よ、助けてください。Lord/help/me. 3語の祈り。主がなさることは？ 主は答えられます。主はペテロを助けられました。神は3語の祈りに答えられました。同じ説教をしたくありません。火曜日の夜、祈り会でのメッセージは、祈りについてでした。考えてみてください。思い浮かぶ全てのうちの1つで、イエスが弟子たちに教えられたのは、イエスがそうであられたように、祈りであり、説教の方法ではありません。そう、私は全くそうせず、こう言いました。「イエスよ、説教の方法を教えてください。」

主はこう言われました。「いいえ、祈り方を教えます。」なぜ弟子たちは

「祈り方を教えてください。(ルカ 11:1)」と主に尋ねたと思いますか？ 理由は、弟子たちは救い主を見ていたからです。一人離れられ、祈られます。弟子たちが言うには、「私たちはそのようになりたいのです。」救い主の祈りの人生の力を見たからです。イエスがそのように祈る方法を私たちに教えられました。弟子たちはイエスの祈りを見ていたからです。イエスは弟子たちの模範となられ、弟子たちは祈りの力を見ました。「集まること」の話に戻りましょう。あえて言えば、一見すると当然のことのしっかり把握のように見えるかもしれませんが、残念ながらそうではありません。ただ、体として集まる。それが健康な体ではないですか？ 体のどこかが痛むと、体全体がそれを感じます。つまり、親指を怪我しても、足の指はそれがわかるので、私に知らせます。

「あなた（足の指）はずっと下であって、これ（親指）は、上にいます。あなたとは関係ないよ。」ええ、でも体の一部です。因みに、それが健康な細胞のすること。体の一部が傷つくと、体内の他のすべての細胞が助けに駆けつけます。他の細胞が集まり、取り囲みます。それがすべきこと。何をすればいいかわからない時、集まる/団結する必要があります。「ええ、でもしばらく話していません。」

それが問題なのかもしれません。「まあ、うん、でもフェイスブックで友達解除されたしね。」それなら、もう一度彼らに友達申請を送って、集まれはどうですか？ あなたがたは、祈りが必要なことから。あなたがたは主を求める必要があります。あなたがたは助けが必要です。一緒に集まって、主からの助けを求めた方がいい。

3つ目は、5節から11節：「主による過去の勝利を思い出す。」

5節から読むので、ついてきてください。これはちょうど、、、「素晴らしい」という言葉以外、何と言ったらいいかわかりません。今日はもう、その言葉を使いすぎてしまったかもしれませんね。「素晴らしい」のままにします。

— Ⅱ歴代誌 20:5 —

ヨシャファテは、[注目]主の宮にある新しい庭の前で、ユダとエルサレムの集団の中に立って、

今、ユダの人々が全員集まっているからです。そして、エルサレムの新しい庭の前にある主の神殿で、こ

う言った。今、人々がそこにいて、ヨシャファテの祈りを聞いています。

ー Ⅱ歴代誌 20：6 ー

こう言った。「私たちの父祖の神、主よ。あなたは天におられる神ではありませんか。あなたはすべての異邦の王国を支配なさる方ではありませんか。あなたの御手には勢いと力があり、あなたに立ち向かえる者はだれもいません。

ー Ⅱ歴代誌 20：7 ー

私たちの神よ。あなたは、この地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、とこしえにあなたの友アブラハムの裔にお与えになったのではありませんか。

ー Ⅱ歴代誌 20：8 ー

彼らはそこに住み、あなたのため、御名のために、そこに聖所を建てて言いました。

ー Ⅱ歴代誌 20：9 ー

『もし、さばきの剣、疫病、飢饉などのわざわいが私たちを襲うなら、私たちはこの宮の前、あなたの御前に立ちます。あなたの御名がこの宮にあるからです。そして、私たちは苦難の中からあなたに叫びます。あなたは聞いて、お救いくださいます。』

ー Ⅱ歴代誌 20：10 ー

ところが今、アンモン人、モアブ人、およびセイル山の人々をご覧ください。かつてイスラエルがエジプトの地から出て来たとき、あなたは彼らの地に入っていくことをお許しになりませんでした。それで、イスラエルは彼らを避け、彼らを滅ぼさなかったのです。

ー Ⅱ歴代誌 20：11 ー

ご覧ください。彼らが私たちにしようとしていることを。彼らは、あなたが私たちに相続させてくださったあなたの所有地から、私たちを追い払おうとしてやって来たのです。

ここで何が起きたかわかりますか？ 集まったすべての人々の前で、人々が庭にいます。非常に詳細な描写です。ヨシャファテはその場で大声で祈ります。声に出して祈る。耳から入ってきます。ここですぐ出てきます。私は大きな声で祈ります。それが私の祈りの生活を変えました。私の唯一の後悔は、もっと早くそれを始めなかったこと。自分の祈りを聞くこと、御言葉の音読には何かがあるからです。理由は、

「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。」
(ローマ 10：17)

自分の祈りを聞く時、耳から入ります。ただ静かに読む、視覚的に見るよりも、音で聞くと、脳の別の部分に入って処理されます。ですから、これはユダの全ての町から集まった全てのユダの人々の耳に入ります。彼らの王、ヨシャファテ王がこの祈りを祈るのを聞いています。この力強い祈りの共通項が何かわかりますか？ それは、神の約束と神が彼らに与えられた過去の勝利をすべて思い出し、みなに思い起こさせます。「おお、神よ！ あなたは過去にこれをされました。あなたは私たちに、過去にこれを与えられました。あなたは過去にこの勝利を私たちに与えてくださいました。」

ダビデを思い出します。3人の兄がいる戦場へ、父親がダビデを送った時、兄たちは40日40夜、あの無割礼のペリシテ人が自分たちの神の御名を冒瀆するのを聞きながら、恐怖で麻痺し、どうしていいかわかりません。「恐れる必要はありません。小さなダビデがここにいます。」ダビデが現れ最初にすること：兄のエリアブはダビデに大変辛く当たります。当然です。慣習ではエリアブが王位継承者だったからです。サムエルが、イスラエルの次の王に油を注ぐために遣わされた時、エリアブは長子です。当然、常に

長男が選ばれます。実際、「サムエル記」に、その話の記述があって、サムエルは、それがエリアブではないことに啞然とします。エリアブと一緒にいる他の6人の兄弟でもありません。それが、サムエルが父親エッサイに尋ねる理由です。

サムエルは言いました。他に息子はいますか？ (Iサムエル 16：11参照)

「まあ、はい、でもその子は、、、あり得ません！！」あり得えます。彼はどこですか？ おお、興味深いことに、ダビデは羊の群れの番をしています。(Iサムエル 16：11参照) その子だ。(Iサムエル 16：12参照) ダビデは良い羊飼いだからです。それが、ダビデが「神の御心に適う心を持つ」と言われる理由です。ダビデは羊飼いの心を持っていました。さあ、ここでダビデです。ダビデは多分10代半ばだと思われます。まだ運転免許証も持っていないでしょう。戦場に姿を現したのは、父親が、兄たちがどうしているか知りたかったからです。彼が現れ、初めて聞く言葉です。エリアブが「ここで何してる？ あっち行け。何をしてるんだ。このチビ。小さな羊のところへ帰れ。ここは男の来るところだ。」そして突然、ダビデは、この無割礼のペリシテ人が自分の神の御名を冒瀆するのを聞きます。ダビデは、「これは良くない！ いつから聞いているのですか？」賛美のようです。

♪ どれくらい？ ♪ おお～、ごめんなさい。どこから来たのか？ 陽気さが必要なんです。いいでしょう？ おお、40日40夜です。「私にさせてください！」「何を言っている、ダビデ。ダメだ。ダメ、ダメ。」「いえ、私にやらせてください！」彼らはダビデが本気だと気づきます。彼らは、ダビデをサウル王のところに連れて行きました。この小さなダビデ登場。ダビデが、「私にやらせてください！ あなたたちはいいのですか？ 40日40夜、恐怖で麻痺してここに座り、あの無割礼のペリシテ人に、私たちの神の御名を冒瀆させていいのですか？ 私は我慢できません。ここで今すぐ止めさせます！ 私にやらせてください！」サウルは、「わお、まじか？ ダビデよ。」ダビデを説得します。「聞きなさい。あの男は王者だ。」それが彼の名です。ダビデはそれを知っていました。それでダビデは、ゴリヤテと決して呼ばない理由です。一度もそう呼びません。ゴリヤテは王者を意味し、彼は王者ではないからです。ダビデがゴリヤテについて言及する時は、「無割礼のペリシテ人が神の御名を冒瀆している。」と言います。それがゴリヤテだからです。ですから、サウルはダビデを説得しようとしません。

「ゴリヤテは君が生きているよりずっと前からこうだ。ゴリヤテは、ランチにディナーに君を食べる。朝食の残りにするほどだ。ダビデよ、とても無理だ。」

そしてダビデはこうします。ダビデは過去を思い起こし、サウルに語ります。「サウル王、あなたはわかっていません。神が私の手に熊と獅子を引き渡されました。」(Iサムエル 17：34～36参照)

ちなみに、それは預言的類型論です。「この無割礼のペリシテ人は、私の手に渡されます。(Iサムエル 17：37参照) ですから、私にやらせてください！」

で、サウルは何と言うでしょう？ まず、想像できますか？ それがどんなに恥ずべきことか不名誉。これが王です。見てください。あなたはそこで、赤ん坊のように泣いています。私のように。ここで、この小さな羊飼いの少年ダビデの登場。で、サウルはどうするのか？ サウルはダビデに自分の鎧を着せます。「わかった。やってみなさい。しかし、私は勧めない。」ダビデは鎧を着ますが、これを想像できますか？ これにユーモアを見る私をお許しください。鎧を着たダビデは、「あの～、まず、僕のサイズじゃない。僕の色じゃないし。(私は初老の秋色ですが) でも、僕には合いません。どうか、、、

脱いでもいいですか？ 僕に必要な全ては石投げと、滑らかな(5つの)石だけです。」

(Iサムエル 17：40参照) 因みに、「5」：恵みの数です。信仰によって、恵みによって救われる。

(エペソ 2:8 参照) ところで、これだけは言わせてください。ごめんなさい。この記述を教えるにあたって、私も間違えて教えたことがあって、通常、人生でのゴリヤテの倒し方、巨人の殺し方という言葉で表現されます。ダビデのようにゴリヤテを倒すための7つの鍵。一つだけ問題があります。私たちは話の主人公ではありません。ダビデはイエスの型です。イエスが私たちの人生でゴリヤテを倒して下さるお方です。すぐにわかります。ですから、許してください。あなたがそう教えられていたら。これは大昔、カセットテープの頃の話です。一つ残らず燃やしましたけどね。でも、もしそれがオンラインにあったら、その動画を削除していただけますか？ もう一度教え直す必要があるからです。それでダビデはどうするのか？ ダビデは鎧を脱ぎます。過去の勝利を思い起こした後、ダビデの言ったことは、

「獅子や熊の爪からしもべを救い出してくださった主は、このペリシテ人の手からも私を救い出してください。」(1サムエル 17:37)

主はそうされました。大変重要です。この重要性を強調しすぎることはないでしょう。現在や未来についての恐怖心があるときは、過去に戻ることに。神は、昨日も今日も、そして永遠に同じ神だからです。主は、過去にあなたを救い出されました。なぜ今、主はあなたを救い出されませんか？ 主は、過去にあなたに勝利を与えられました。今なぜ主はそれをされませんか？ 神が、これを思い出さねばならなかったのではありません。ダビデは、彼自身も含め他のすべての人々がこのことを思い出せるように祈る必要がありました。思い出すこと、主による過去の勝利を思い起こすことは、大変健全なことです。

12節：この一節に少し時間をかけます。「主から目を離さない。」

12節を読む前に、同意されますか？ 私のような経験をされましたか？ 私はこの分野で博士号を持っています。あなたは主に目を注いでいません。あなたは問題に、敵に、状況に、苦難に、あなたが直面している問題であなたに迫っていることに目を向けています。主ではなく、そちらに目を向ければ向けるほど、それは大きくなります。そして、それは主を消してしまいます。それはどちらにも働きます。逆に、あなたの目が主に注がれるとき、神がより大きくなります。理由は、あなたは試練というレンズを通して神を見るのではなく、その試練を神というレンズを通して見ているからです。

「主から目を離さないでください！」とあなたがこう言う時、悲しいかな、ほとんど決まり文句になってしまいます。人生の戦いや試練と戦っているときに、そうするのは難しいです。でも、それは本当です。では、ヨシャファテの結論を聞いてください。つまり、言わば、12節は最高の祈り方です。ヨシャファテがすることを聞いてください。彼はまだ祈っています。

— 歴代誌 20:12 —

私たちの神よ。彼らをさばいてくださらないのですか。攻めて来るこの大軍に当たる力は、私たちにはありません。私たちとしては、どうすればよいのか分かりません。ただ、あなたに目を注ぐのみです。

完璧です！ それこそが祈るための最善の方法で、完璧なところですよ！ あなたは無力です。どうしようもできません。何をすべきかわかりません。ここに神がおられます。「わたしがします。わたしを見なさい。わたしに任せなさい。あなたには何をすべきかわからない。この状況であなたは無力です。わたしは全能です。あなたは何をすべきかわからない。わたしは全知全能で、何をすべきかわかっています。それは問題ではありません。問題は：あなたは、わたしにさせますか？」

これは、あなたが破れない原則の1つではなく、それがあなたを砕きます。それは無力であることと関係します。私たちの罪の性質、アダムの性質にあるすべて、肉がこのことに苛立ちます。私たちは自分の強さ、能力、力のエネルギーでいたいからです。

『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』（ゼカリヤ 4:6）

と主はおっしゃいます。そう、神は問題があります。いえ、神に問題があるのではなく、私たちが問題なのです。問題は何か？ 私自身のことを言います。私がいかに敬虔な牧師かご存知でしょ。私はいつもチームのために犠牲になります。神は、私と問題があらわれます。神の私との問題は何か？ 私は強すぎます。神は、私を無力で、どうしようもないあの場所に連れて行かれます。神がそうされない限り/されるまで 私は神を見ないからです。私はまだ自分の力に頼っています。私はまだ自分の力、手腕に頼ろうとしています。それがまだ選択肢です。

訳すと：私にはまだ可能性がある。

自分の強さ、力、能力でそれが可能である限り、神に委ねない。ヨシャファテが祈るとき、神は、つまり、神に与えられた想像力を使って、彼が祈り、神に叫ぶときの声の調子や叫びを聞いてみてください。

「おお、神よ、私たちは無力です。私たちに向かってくるこの大軍に対して、何をすればいいのかわかりません。私たちに希望はありません。何をしたらいいのかわかりません。しかし、私たちは、目をあなたに注ぐのみです。」「あ！今、わたしを見ていると言いましたか？」はい。「今、自分は無力だと言いましたか？」はい。それは素晴らしい！（直訳：神の耳には最高の音楽。）私がまだ信じて間もない頃、誰かが私に近付き、私は全て、、、私の神学は、、、これが40年以上前、新しい信仰者である私の神学でした。私にやさしくしてくださいね。イエスは現実です。イエスは本当に本当に現実です。イエスは現実です。それが私の知る全てでした。しかし、すべてがイエス、イエス、イエスでした。大変シンプルでした。こんなことがありました。実際、ある人が私の従兄弟でした。いえ、今も従兄弟です。従兄弟は私にこう言いました。「まあ、神は自分を助ける人を助ける。」当初、聖書を読んでいませんでした。私は、それってどこにある？ えっと、探してみよう。それは「第一 フレッシュロニアン（肉の人）への手紙1章」です。それは肉だからです。いえ、そうでしょ？ 御霊ではありません。これは、自分の力と強さのイシュマエル（肉の型）です。その意味は、あなたが神を助ける。結局、神はあなたの助けを必要とされているのだから。神は自らを助ける者を助けられる。「清潔は敬虔に次ぐものである。」の節のすぐ隣にあると思います。そう思っている方、ネタバレです。それは聖書にありません。ここまで脱線するつもりはありませんでしたが、、、正反対です。自分自身を助けることができるとは、あなたは神に、こう言っているのです。「私はあなたの助けは必要ない。自分にはまだ強さがあり、自分を助けられる。」神は大変恵み深く、決して無理強いはされません。それはちょうど、、、地上の親を想像ください。子どもたちがあなたの助けを求めないとき、あなたは黙って座っていますか？ 私たちの天の御父がどれほどか想像できますか？ 私たちはこう言います。「そう、ね？私がする。」神はこのように、「あなたはできません。それがわかったら、知らせて下さい。わたしはここにいます。」

ご存知、ある人は、時間がかかります。自分がどういう者か分かりますね。私は誰とも目を合わせません。

それは私です。5832回試しました。「神よ、私にはできません。」じゃあ、そろそろ時間だね。

3つのステップをご存知ですか？

ステップ1：あなたにはできない。

ステップ2：神はおできになる。

ステップ3：神にさせていただく。

私たちはどうすることもできません。私たちは無力で、絶望的です。あなたがその場所に来ると、あなたはもう自分自身に選択があるとは思いません。今や自分には不可能。あなたには不可能です。

「それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。」(マタイ 19:26)

ただし、それがあなたにとってまだ可能な場合を除いて。ええ、もしかすると、、、うまく伝わることを願います。これが私にメモがある理由です。あなたにとってまだ可能なら、神にとって不可能なのです。神が可能な唯一の方法は、あなたにとって不可能な時です。その場所へ行くのは早ければ早いほど良いです。苦痛と心痛からあなたを守ります。信じてください。私はこのことを苦勞して学びました。私はまだ学んでいます。

私の気質：私は意志が強いのです。皆さん、ご存知ないでしょうけど、意志が強い、頑固、強情、自己中心的、強い。「自力で苦境を乗り越えそれを実現させるんだ。」神はこのように、「OK。あなたの準備がきたら知らせなさい。わたしはここにいます。おお、まだあなたにとって可能ですか？ あなたはまだ無力というところに至っていませんね。」つまり、あなたが無力でないなら、あなたを助けてくださる主を見ようとしするのは当然ではないですか？ 神よ！ 私はヨシヤファテを想像します。脆弱で、感情的に、神に泣き叫びます。「神よ、私たちは何をすべきかわかりません。」それには謙虚さが必要です。あなたは王です。何をすべきか分かるはずです。ユダの人々が皆、こう言うのを想像できますか？「マジ？ どうしたらいいかわからないって？ 今、本当に震えあがりますよ。」いえ、でも神がなさいます。神を見てください。私を見ないでください。あなた自身を見ないでください。ダサイのはわかります。でも本当です。ある人がこう言いました。

「もしあなたの目が自分に向いているなら、あなたは落ち込む。自分の目が他人に向いているなら、あなたは苦悩する。しかし、もしあなたの目が主に向いているなら、あなたは祝福される。」(コリー・テン・ブーム)

ダサイのはわかりますけど、本当ではないですか？「ただ内面を見る」というもの。いいえ、それはしないでください。しないでください。見て気に入ることはありません。落ち込むと思いませんか？ ちょっと言い過ぎましたが、、、まあ。

5つ目、これは興味深いです。13節と14節で、「あなたの家族を主の御前に携える。」

私たちの人生において、神がなされる偉大で力強いことを子どもたちに目撃させない時、私たちは大きな過ちを犯すと思います。子どもたちは、親が祈り、主を求め、主に叫ぶ姿を見る必要があります。子どもたちのために模範になる必要があります。何を教えるかではなく、何を捕らえるかです。祈るところを子どもたちに捕らえさせてください。それはちょっと厄介ですけど、そのことを決して忘れないでください。あなたが祈るところを捕らえさせてください。ひざまずいて、祈り、神に叫ぶあなたに歩み寄らせてください。そう、あなたが子どもたちに教えることは、何をしたらいいのかわからないときにするのは、私たちは祈ること。私たちは心配したり、悩んだり、恐れたりせず、まっすぐ主の御もとへ行く。私たちは主を求める。私はあなたに、、、ああ、言うつもりじゃなかったけど、、、(主よ) 言いますね？ 12歳以下の子どもの話ではなく、、、私が話しているのは、、、それは、、、それが、子どもたちのミニストリーがある理由です。子どもたちのミニストリーの素晴らしい指導者がいます。恥ずかしい気持ちにさせたくないですけど、クリスです。私がそう言ったことは彼女には内緒です。遅すぎますね。きっと彼女は聞きましたね。私たちには、、、彼女は素晴らしい。私たちは子どものためのミニストリーはありますが、13歳になったら、私たちはどうするのか？ キリストにある若者についての聖書箇所を見せてみてください。若者のためのキャンパス・クルセード・フォー・クライスト。(キリスト教宣教団体) 聖書のどこにユースグループがあるのか、教えてください。若者を両親から離す聖書箇所がどこにあるか見せて

ください。若者は、両親が神を礼拝する姿を見る必要があります。若者は、教会で神の御言葉の教えの下、一緒にいる両親の姿を見る必要があります。しかし、私たちは彼らに何を言いますか？「大人の席には座れない。君はあそこに座りなさい。」私たちは、なぜ子どもたちが主と関わりたがらないのか不思議です。私たちが彼らにそのメッセージを送っているからです。

「いや、君たちは上に行って、ピンポンでもしてなさい。」私はフーズボール（テーブルサッカーゲーム）とは言いたくありません。フーズボールが大好きだから。－（笑）－ いえ、実際そうなんです。いや、真面目な話、私は大会でチャンピオンでした。後ほど話します。実はフーズボールテーブルがありましたけど、処分しました。とにかく、それは残念でした。それは全てアクティビティで、結局、あなたは、、、「つまらない。礼拝はつまらない。」神の御言葉はつまらないですか？ できるものなら私の顔を見てこう言ってください。『第二歴代誌 20 章』は退屈だ。」と。おそらく、最も興奮する、ハラハラドキドキ、手に汗握る箇所のひとつです。何と言います？ これって、そう、スリルだっけ？

「彼らはどうするのですか？」彼らがするものではありません。神がされます。見ていなさい。では、これを読みましょう。まだ読んでいませんね。

－ Ⅱ歴代誌 20：13 －

ユダの人々はみな主の前に立っていた。[聞いてください。] 彼らの幼子たち、妻たち、子どもたちもともにいた。

彼らは子どもたちのミニストリーから子どもたちを連れ出しました。「みな主の前に立っていた。」

－ Ⅱ歴代誌 20：14 －

ときに、主の霊が会衆の中で、... [これは興味深いです。]

...アサフ族の出であるレビ人やハジエルの上に臨んだ。彼はマタンヤの子エイエルの子ベナヤの子ゼカリヤの子である。

では、一体なぜこの男の先祖と家系図を知る必要があるのか？ それについては後ほど。ごめんなさい。ご辛抱ください。妻たち、家族も子どもたちもみな一緒に、主の前に立っています。なぜ？ 主のことばを聞くために。

「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。」
(ローマ 10：17)

今、神は御自分の器を通して御自分の御言葉を語ろうとされます。レビ人？ 何だって？ 祭司です。預言者はどこ？ これだけでも人々の注意を引きました。当然ながら、神がこう語られる時、

「主はこう仰せられる」「イスラエルよ、主の言葉を聞け。」それはいつも預言者を通してでした。では、なぜ神は祭司を用いられるのか？ それは並外れたことであり、普通ではないからです。ここからが教訓です。時に神は、神が選ばれるとは、あなたが考えてもいない器を用い、神は、あなたに語りかけられます。つまり、私たちは預言者を探していて、結局、主の御言葉は預言者を通してもたらされるからです。が、神がレビ人を通して語られるのなら、これは重大に違いありません。それはレビ人がすることではありません。彼らは神殿で祭司の奉仕をするのですから。彼らは主の御言葉を預言しません。

「いや、今回、わたしはレビ人を用いる。」預言者ではなく、祭司です。オズワルド・チャンバーズの言葉が好きです。「時に、私たちは神が扉を開けられるのを探す。そして、神はこちらにおられ、今回は扉を使わないと仰る。」それいかが？ これは大変緩い言い方ですが、チェンバーズは、そういう言い方ではありませんでしたけど、「わたしは扉は使わない。今回は窓を使うつもりだ。」そう、ここに問題がある

からです。福音書を見ると、イエスが人々を癒される時、それがわかります。主は異なった場面で、異なったことをなさるのにお気づきですか？ なぜ主がそうなさるのかご存じですか？

ですから、形式、タブAに、スロットBを挿入、ヒーリングCを獲得、ではありません。

ある時、「イエスはこう言ってから、地面に唾をして、その唾で泥を作られ、その泥を盲目の彼の目に塗って、癒された。」(ヨハネ 9：6参照)

主は毎回そうされません。想像してみてください。主がそうされたら、土に唾を吐き、泥を作り、目を癒す教派の第一教会となる。でしょ？ それを形式にするからです。ある時は、イエスはただ仰いました。

「あなたは癒された。」時に神は、、、主は私たちにそうされます。私たちが自分自身を知る以上に、主は私たちをご存知だからです。主は、私たちがこの形式・常套手段を掴みたがるのをご存知です。それが「使徒の働き」の理由で、、、「使徒の働き」の書について神を褒め称えます！ 時には、誰かが聖霊のバプテスマを受け、異言を話すことがあって、それ以外のときは、大胆さを、異言がないときもあります。神がそうされるのには理由があります。神を箱に入れないでください。主は、同じことを同じ方法で、同じ時に同じ色ではされません。主は私たちがそれで何をするかご存知だからです。

神はこう仰います。「そう、今回は預言者ではなく祭司を用います。」これは、まさに何かを意味します。神が、レビ人を通して語られるのであれば、これは非常に深刻なレベルにまで高められるに違いありません。それが神がなさることです。それが6つ目に繋がります。15節から17節です。

「主と共に戦いに立ち向う。」この祭司であるレビ人ヤハジエル、神は今、彼を通して神の御言葉を語られます。人々は、このレビ人を通して神の御言葉を聞きます。

— Ⅱ歴代誌 20：15 —

彼は言った。「ユダのすべての人々、エルサレムの住民、およびヨシャファテ王よ、

よく聞いてください。...

...主はあなたがたにこう言われます。...

「主はこう言われる。」

ヨシャファテと共にいるすべての人々よ。

言いますよ。

...『この大軍のゆえに恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、神の戦いである。』

もし私がそこにおいて、このレビ人を通して、神の御言葉が私に語られるのを聞いたら、「大丈夫だ。」再度、ゆるい言い換えです。「わたしに任せなさい。これはわたしの戦いだ。恐れてはならない。わたしが引き受けた。おののいてはならない。わたしに任せなさい。」はい、でも、大軍を見ましたか？

「わかっています。でも、わたしはもっと大きい。」

— Ⅱ歴代誌 20：16 —

明日、...

[レビ人がまだ語っています]

...彼らのところに攻め下れ。見よ、彼らはツイツの坂を上って来る。あなたがたはエルエルの荒野の前、谷の外れで彼らに出会う。

— Ⅱ歴代誌 20：17 —

この戦いは、あなたがたが戦うのではない。堅く立って、あなたがたとともにおられる主の救いを見よ。

ユダとエルサレムよ、...

[再び、言います。]

...恐れてはならない。おののいてはならない。明日、彼らに向かって出陣せよ。主はあなたがたとともにおられる。』]

再度、お許してください。私の、、、私のユーモアのセンスに臨床用語があるのはわかっていますが、レビ人を通して神がこう語られているようです。

「あなたがこれを戦うのではありません。わたしです。そこに堅く立って、美しくあれ。」

「いいえ、堅く立って、ここに立つだけ?」「そうです。堅く立って、見ていなさい。堅く立って、わたしがすることを覚えていなさい。ただそこに立っていなさい。何もしないでください。堅く立って、美しくあれ。」

さて、私にはちょっと難しいです。立てますけど、美しいとなると? わかりません。そこに立つだけ。そこに立つだけ。「敵と向き合いなさい。わたしがあなたとともにいる。あなたのために戦う。あなたがこの戦いを戦うのではない。わたしはあなたにただ堅く立って欲しい。」それは今日ここにいる誰かのための言葉かもしれません。子どもの時に、これをいつも聞きながら、育ちました。「じっと座っていなさい。」おお、あなたも? これは問題です。私にはできないからです。そう、先生が私にこう言うやいなや、「ただじっと座っていなさい。」私は座っていて、「僕は動いてはいけないの?」

つまり、ここで、彼らは私に教えようとしています。私はそれを試されます。

私が考えるのは:「僕は動いてはいけない!」だけ。「ただじっと座っていなさい。」じっと座っていなければならぬ! それしかダメなの? どうすればいいのか? 事実ではありませんか? もっと、、、あなたが、「じっと座っていなさい。」と言われたら、もっと動き回りたくなる! おお、よしてください。そんな風に私を見ないでください。世ではそれを逆心理学と呼びますが、まるで、、、

「白い象について考えないでください。」(どうなります?) 店の窓がすべて紙で覆われ、穴が開いています。「この穴を見ないで。」と書いてあると? 次の角まで行列ができますよ。なぜ見ちゃダメなの? その中に何があるの? 「じっと座っていなさい。」どうして? できない。ダメ。それが人間の本質です。聞いてください。このことで私はチームのために犠牲になりません。皆さんも私と同じですからね。大丈夫。わかっています。誰も見ませんから。堅く立ちなさい。そう、これは、有名な箇所ですね? 「その戦いは神のもの。」私たちはそれを賛美し、引用します。しかし時がやってきて、戦いは主のものですが、留意ください。彼らは主と共に戦いに向かいます。「わたしはあなたの子どもたちもそこにいさせてほしい。わたしがすることを覚えてほしい。わたしがこの大軍を奇跡的にあなた方の手に渡すのを見れば、他の方法では築けなかった信仰が築けるからです。」興味深くないですか、木曜日の夜にも話したと思いますが、「神は、神がなさることをどのようになさるのか。」

神は、それをされたのが間違いなく神だと分かる方法でなさいます。神は、不可能な状況を作られ、神がそれをなされた時、あなたは、他に説明がつかないので、主がされたのだとわかります。その説明を試みることもできますけど、ええ、紅海はその一例です。ちょっと、紅海の話を持ち出します。もう少しで締めくくります。その希望はあります。紅海について。どれほどはっきりしていますか? 地が乾き、水が分かれる? (こんな風に言う人)「いや、あれは超自然的なことではなく、奇跡でもありません。

紅海では:一年のうちある時期だけ、この風が吹いて、本当に浅くなるらしく、そういう可能性があって、その風が海を分けるんです。」とか。あなたはこうなります。「おお、本当? 残念でした。」

それなら、きっとさらに大きな奇跡です。なぜか？ それなら神は、エジプト人を浅瀬で溺れさせたことになるからです。それはもっと大きな奇跡です。いいえ、奇跡でした。紅海に戻りますから、どこにも行かないでください。

最後の1つは、紅海に戻ります。しかし、最後の1つに進む前にこれに触れないと怠慢となります。戦わねばならない時があるからです。聖書には、イスラエルの民が約束の地を手に入れるために戦いに行き、戦わねばならなかったという記述があります。神の約束には、私たちが戦い、信仰の善き戦いを求めるものもあります。しかし、この特別な戦いは、神は仰います。「あなたが戦うではありません。わたしがします。」

では、最後の1つに進みます。7つ目、21節と22節です。

「主を信じる信仰によって、前もって賛美する。」

では、21節から読みましょう。

— Ⅱ歴代誌 20：21 —

彼は民と相談し、主に向かって歌う者たちと、聖なる装いをして賛美する者たちとを任命した。彼らが武装した者の前に出て行って、こう言うためであった。「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」

ここで止めます。何だって？「あなたは立って、戦いに向かえ。主の戦いだ。しかし、わたしはあなたにそこにいてほしい。賛美する者たちを前に送りなさい。わたしは賛美する者たちの上にいる。」

待ってください。私がまず前に行かねばならないのですか？「はい、それだけではなく、勝利に先立ち、今から神を賛美し感謝してください。」待って、それって後にすることじゃないんですか？「いいえ、前もって。」22節にその理由です。これを見てください。

— Ⅱ歴代誌 20：22 —

彼らが喜びと賛美の声をあげ始めると、...[それが信仰です。]

信仰によって、彼らは歌い、賛美し始めました。そう感じたのでしょうか？絶対にありません。私ならありません。楽器を持っていたらコードもめちゃくちゃ、声はフラット、シャープ、すべてひっくり返るでしょうね。緊張します。おおおおお、、、主の愛は永遠に続くううう。

— Ⅱ歴代誌 20：22 —

[しかし] **彼らが喜びと賛美の声をあげ始めると、主は伏兵を設けて、ユダに攻めて来たアンモン人、モアブ人、セイル山の人々を襲わせたので、彼らは打ち負かされた。**

わお！ 行け、賛美隊！ 仰る意味は、勝利の前に、賛美隊が前に出るとのこと？ 彼らはそこに立ち、賛美隊がスクリーンに映し出された言葉とともに全員を賛美に導く。:

「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」(Ⅱ歴代誌 20：21)

神がこの大軍を打ち負かし始める前から？ そうです！

「彼らが喜びと賛美の声をあげ始めると」(Ⅱ歴代誌 20：22)

これは「前」です。信仰によって、前もってです。紅海の話にさっと戻りましょう。説教の中の説教を聞きました。今は主の御もとにいる兄弟が説教しました。

タイトル：正しい賛美を間違った側で。

ここにイスラエルの民がいて、彼らは紅海のこちら側（手前）にいます。恐れて、これでおしまいだと考えながら。ユダがヨシャファテとともにこの大軍が敵対してくる時のように。エジプト人が後ろに迫っています。目の前には紅海です。もう火で死ぬのか、水で死ぬのかです。焼き殺されるのか？溺れるの

か？ 民はつぶやき、不平を言い始めます。

「エジプトには十分な墓がなかったからか？ 私たちを殺すために、わざわざここまで連れてきたんだ。」
(出エジプト 14:11 参照)

そんな感じですね。そこで神は仰います。「よし、モーセ、杖を取りなさい。」「見なさい。しっかり立って、主の救いを見なさい。」(出エジプト 14:13 参照)

あなたがする全ては、ただそこに立ち、杖を出し、見なさい。見ていなさい。見なさい。今わたしを見なさい。杖を出しなさい。」紅海は分かれ、乾いた地ができた。これが私が呼ぶ「紅海の明瞭な奇跡」です。人生のすべての決断がそうであつたらと願います。想像してください。イスラエルの民はこう言います。「私たちがこの方向に進むのが神の御心だと思う。」あんたそう思うの？

「これが道だ。これに歩め。」(イザヤ 30:21 参照)

そう思います。火があつて、エジプト人を引き留めます。そして、民は乾いた地を歩きます。私たちは、イスラエルの民について多くを語ります。いくつかあつて、評価したり、誰がこれをしてとか。どれだけの時間がかかるかを計算したり。民が紅海を渡り終えるとすぐに、エジプト人が追ってきます。でも、水が戻り、、、民は向こう側に渡り、モーセの姉ミリアムは、賛美隊のリーダーで、神が勝利と奇跡を成し遂げられた後、紅海の向こう側でミリアムは彼らを賛美に導きます。正しい賛美曲です。「主よ、あなたを褒め称えます！」でもそれは、信仰ではありません。安堵です。おお、あなたは今、神を讃えるのですね。前もって、信仰により信仰において、主を賛美しませんでした。神よ、あなたがなさろうとしていることを前もって感謝します。あなたは私をお見捨てになりません。あなたは決して私を放っておかれたり、お見捨てになつたりしません。いつも私を養ってくださいます。あなたは奇跡の神であられます。あなたは私を救い出されます。信仰によって、あなたがなさると前もってあなたに感謝します。神は大変喜ばれます。信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。(ヘブル 11:6)

しかし神は、その信仰に抵抗できないものを見られます。福音書では、イエスはすべてを止められ、ある人の信仰を指摘されます。

「わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことがありません。」(マタイ 8:10 参照)

あるいは、それがなければ、「信仰の薄い人たちよ。」(マタイ 6:30 参照)

軽蔑や嫌悪ではなく、本当に哀れみから。「あなたの神はとても大きいのに、なぜあなたの信仰はそんなに小さいのですか？」ですから、前もって主を賛美すること。前もって主に感謝すること。「おお、でもそんな気分じゃありません。」違う、違う、違う、違う。感情は後でついてきます。

これで締めくくります。ですから、私が、、、妻は私を座らせ、私に話しました。私は強いので、、、私がただ、胎児のように丸くなり、抑えきれずに泣きました。再度、私の妻は本当に素晴らしいんです。彼女は知っています。私がただ主と二人になりたい時を。私はただ神に泣き叫びます。その聖霊の静かで小さな御声で、、、可聴の話ではありません。その必要はありません。ただ、聖霊の静かで小さな御声が心にこう語りかけられます。「あなたにわたしを褒め称えてほしいのです。」私はこんな感じで、

「主よ、本当ですか？ 私は祈りさえできないのに。 どうやってあなたを褒め称えるのですか？」

涙腺が枯れ果ててしまいました。呻くことさえできませんでした。それは心の沈黙の叫びでした。

「あなたは私に賛美させられたいのですか？」「そうです。わたしはあなたに今、わたしを褒め称えてほしい。わたしに賛美を捧げ、わたしに感謝してほしい。」

はじめは雑でした。でも、はじめのうちは泣いていました。あの賛美歌には毎回やられました。

♪ 主よ、我がそばをば、すぎゆかず♪ (聖歌 540 番 新聖歌 283 番) (直訳：優しい救い主よ、私を通り過ぎないで) ♪ ながめをばわれに むけたまえ♪ (直訳：私の謙虚な叫びを聞いてください)

♪ 主よ主よ ききたまえせつによびまつる わがこえに♪ (直訳：他の者たちに 汝は呼びかける)

♪ わがそばを すぎゆかないでください♪ (聖歌 540 番 新聖歌 283 番 参照) (直訳：私を通り過ぎないで)

そのように始まりました。そして、気付き始めました。私の霊は、私が高めているように高められました。これらの祈りと賛美と感謝を、この歩みの正しい側で主に捧げることで。そして私は賛美し始めました。皆さん、この讚美歌をご存知ですね。つまり、ゲームチェンジャー/一変しました。賛美を台無しにしないように努力します。皆さん、この賛美をご存知ですね。

♪ オー・ハッピー・デイ ♪ (なんて幸せな日)

♪ オー・ハッピー・デイ ♪ (なんて幸せな日)

♪ イエスが洗われた♪♪ イエスが洗われた♪♪ イエスが私の罪を洗い流された ♪♪ オー・ハッピー・デイ ♪ (なんて幸せな日)

私はただこう言いました。「神よ、ありがとうございます。」賛美が私を変えました。そして、私は階段を降りて行き、夫に戻ることができました。ご存知、「男だ～！ガオオオ！」あなたが今、この状況にあるなら、少しでもお役に立てたなら幸いです。どうしたらいいかわからない時にできるいくつかのこと。私はあなたに約束できます。神の御言葉、神の愛の権威において、そして私自身の個人的な経験と 40 年以上にわたるイエスとの歩みから、あなたがこれらのことをする時、神は聞かれ、神は動かれ、神はなされ、勝利はあなたのものです。特にこの最後の 1 つは、難しいことだと思います。

最後に、エペソ教会について、「ヨハネの黙示録」の 7 つの (教会への) 手紙の初めの手紙で、

「あなたは初めの愛から離れてしまった。」(ヨハネの黙示録 2：4 参照)

悔い改め、思い起こし、悔い改め、繰り返す。「(どこから落ちたのかを) 思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。」(ヨハネの黙示録 2：5 参照)

それら (初めの行い) を繰り返しなさい。「でも、そんな気分じゃありません。」いいえ、気持ちは後からついてきます。ただ初めの行いを繰り返しなさい。気持ちは後からついてきます。つまり、やめられません。賛美の歌詞が頭から離れない時ってありますね？ 私は娘をイライラさせていました。

♪ オー・ハッピー・デイ ♪ 「お、サビア、こっちにおいで。」彼女は歌手だからね？ 私はこう言いました。「お前は、この賛美をもっと上手く歌える。」♪ オー・ハッピー・デイ ♪ 私たちはしませんでしたが、、、女優の名前なんでしたっけ？ そんなこと考えないで。悪いのですが、そうじゃなくその賛美の作者のことです。そして、私たちはその賛美を楽しみました。それは、クラッピング・ソング (手を打ち鳴らして歌う) です。クラッピング・ソング (手を打ち鳴らして歌う) です。

「野の木々もみな、手を打ち鳴らす。」(イザヤ 55：12 参照)

私たちは、、、ここで私は、、、私は___から___へ、、、どうしたの？ と思っていますね？ いえ、いえ、何も間違っていない。今、私は神を賛美し、神に感謝し、信仰によって神を信頼しているからです。正しい側で正しい賛美を。主があなたのために用意しておられる奇跡に先立って。

カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。祈りで締めくくります。ご忍耐感謝します。天のお父様、本当にありがとうございます。何世代も後の私たちのために、この記述を聖書に含めてくだ

さり感謝します。今、私たちはそれを思い起こします。あなたの御言葉は大変生きていて活発で、私たちの人生の状況に非常に当てはまります。私たちもヨシャファテやユダの人々のように、私たちは無力で、どうすることもできません。私たちを助けてくださいますか？ 主よ、私たちは何をすべきかわかりませんが、私たちの目をあなたに注ぐのみです。私たちは、あなたがなされることを見ます。信仰によって、あなたがなされることを前もって感謝し、前もって賛美します。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7